

創造の広場イタリア

— 永遠に再生する春 —

アルプスの南麓から地中海に長く突きだしたイタリアは、太陽をさんさんと浴びる明るく陽気な国だ。そのイタリアはローマ帝国をはぐくみ、キリスト教を根付かせ、ルネッサンスの花を咲かせた。そして現代もお芸術と食とファッションの分野などで世界をリードする。

東京大学教養学部は2007年4月から、イタリア語を初修外国語に加えるが、それを記念して駒場美術博物館で「創造の広場イタリア展」を開催する。本展覧会は、イタリア文化が中心に「広場」を擁する都市の育てた文化であることに鑑み、主として東京大学とゆかりの深い品々の展示を通じて、古代とルネッサンス期と現代の3つの「創造の広場」に分けてイタリア文化のエッセンスを紹介するものである。

展覧会は、初めてイタリア的な「広場Forum=Piazza」を生み出した古代ローマの文化を、東京大学がポンペイの近郊ソマ・ヴェスヴィアーナで行っている発掘調査の成果を通じて紹介する第1部「古代の創造の広場」、ダンテからレオナルド・ダ・ヴィンチにいたるルネッサンスの天才の活動をダイジェストする第2部「ルネッサンスの創造の広場」、そして20世紀の芸術・文化をさまざまな映像を通じて伝える第3部「現代の創造の広場」からなる。

具体的には、ディオニュソス像(ソマの出土品、複製)、ダンテ著『神曲』の15世紀初期印刷本、レオナルド・ダ・ヴィンチ素描パネル(複製)、未来派の雑音楽器イントナルモーリ(再制作)、スタジオ・アッパーロ作のビデオ・フラグメント『チェンチー族』、初期イタリア映画の金字塔『カピリア』のスクリーン写真などが展示される。



▲ ボッカッチョ『デカメロン』(1543年版)

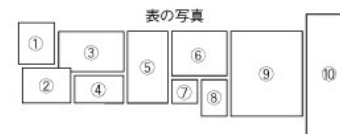
■ ギャラリートーク
毎週土曜日14:00~15:00 (特別ゲストあり)

■ 記念講演会
(教養教育開発機構・美術博物館共催)
2007年4月26日(木) 16:30
東京大学駒場キャンパス I 学際交流ホール
セルジオ・ジヴォーネ
(フィレンツェ大学文哲学部教授・美学)
「ルネッサンス・フィレンツェ美術
— 哲学としての読み(マサッチオを中心に)」

■ 記念コンサート
2007年5月26日(土) 13:30 (開場13:00)
東京大学教養学部駒場コミュニケーション・プラザ 音楽実習室
ピアノ演奏会「イタリアを巡るピアノ曲」
ピアノ独奏: 高雄 有希
予約申込先: <http://museum.c.u-tokyo.ac.jp/piano.htm>

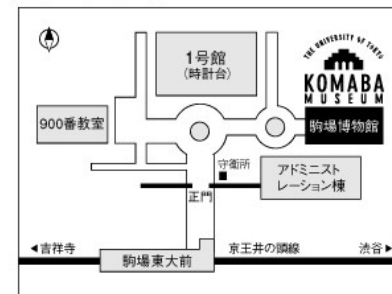
2007年6月7日(木) 18:30 (開場18:00)
東京大学教養学部900番教室(講堂)
第110回オルガン演奏会
オルガン: グレゴリー・ダゴスティノ
入場無料(先着500名)

その他、連続講演会などの関連イベントや、館内における吉田喜重監督『美の美』イタリア編と『マーティン・スコセッシー私のイタリア映画旅行』の上映プログラムについては駒場博物館のサイトを参照のこと。
(<http://museum.c.u-tokyo.ac.jp>)



- 表の写真
- ① スタジオ・アッパーロ作ビデオ「チェンチー族」
 - ② 「神曲」(1569年版)
 - ③ 映画「カピリア」(1914)のモルク神殿
 - ④ 未来派雑音楽器イントナルモーリ
 - ⑤ 城戸晃一作ビデオ「Identità zero」
 - ⑥ ガスタルディ作16世紀古地図
 - ⑦ レオナルドによる幾何学図
 - ⑧ フィレンツェのドゥッモ(写真提供: イタリア政府観光局ENIT)
 - ⑨ レオナルド「女性の頭部」(1508)
 - ⑩ ソマ出土のディオニュソス像

東京大学 駒場博物館



▲ デイオニュソス像(2世紀前半、複製)

▲ グレーサ像ケレル女史像

▲ 九世紀ヴェネツィア古写真

P I A Z Z A I T A L I A